## 作業計画と実績

2013年11月28日現在

月日	曜日	予定 (11/18週間予定表より)		実績	
11月18日	月	<ul><li>・超小型衛星放出ミッション</li><li>準備作業</li><li>・超高感度4Kカメラシステムの 組立て、機能確認</li></ul> Aniso Tubule 実験	[継続実施中] 〇船内利用	<ul><li>・超小型衛星放出ミッション</li><li>準備作業</li><li>・超高感度4Kカメラシステムの 組立て、機能確認</li></ul> Aniso Tubule 実験	[継続実施中] 〇船内利用
11月19日	火	Ice Crystal2 実験	・「きぼう」船内の宇宙 放射線計測(Area PADLES)	Ice Crystal2 実験	PADLES)
11月20日	水	衛星放出 ミッション Ice Crystal2 実験	・Stem Cells実験 ・Space Pup実験	衛星放出 ミッション Ice Crystal2 実験	•Stem Cells実験 •Space Pup実験
11月21日	木	Ice Crystal2 実験	〇船外利用 ・宇宙環境計測ミッショ ン(SEDA-AP)	Ice Crystal2 実験	〇船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP)
11月22日	金	・超高感度4Kカメラシステムの 組立て、機能確認	·4K極低温機械式冷	・超高感度4Kカメラシステムの 組立て、機能確認	・全天のX線天体の監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の共作品である。
11月23日	H	Aniso Tubule 実験 (第1回)	「凍機の技術データ取得」 (SMILES) ・ポート共有実験装置 (MCE)の実験機器の	・超高感度4Kカメラシステムの 組立て、機能確認 ・超高感度4Kカメラシステムの 組立て、機能確認 (第1回)	機の技術データ取得 (SMILES) ・ポート共有実験装置 (MCE)の実験機器の運
11月24日	日		運用		Ħ

日付は日本時間

Ice Crystal2実験: 生体高分子の関与する氷結晶成長-自励振動成長機構の解明 (代表研究者: 北海道大学 低温科学研究所 所長 古川義純) 略語

Aniso Tubule実験: 重力による茎の形態変化における表層微小管と微小管結合

タンパク質の役割(代表研究者:曽我康一 大阪市立大学大学院准教授) PADLES: ライフサイエンス宇宙実験のための受動積算型宇宙放射線計測技術 Stem Cells実験: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究

(代表研究者:森田隆 大阪市立大学教授) Space Pup実験: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響 (代表研究者:若山照彦 山梨大学教授)

SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置 MAXI: JEM搭載全天X線監視装置

SMILES: 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ